

被災した仲間たちへ、富山で支援金 124,762 円集まる!

1月1日午後4時10分頃、能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生。富山県では初観測となる震度5強の地震に見舞われ、津波警報も出されました。被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

●災害救援富山県本部の立ち上げに至らず!とにかく情報収集しました

1月2日に聴覚障害者災害救援対策富山県本部運営委員(構成:富山県聴覚障害者協会・富山県手話通訳問題研究会・富山県手話サークル連絡協議会・富山県聴覚障害者の医療を考える会、富山県聴覚障害者センター)のうち集まれる人が6人センターに集合。

県内の被害状況について情報交換し、富山県本部立ち上げの可否を確認しました。

当センターの被害状況は、書類が散乱し、天井が一部破損しました。できる範囲で会員等にLINE等で安否確認を行いました。氷見市の会員が断水。避難所に一晚避難した会員がいたとの情報が得られ、幸い家屋の損壊などの大きな被害はなかったことを確認した結果、救援本部立ち上げの基準である震度6に達してないこともあり、富山県本部設置に至りませんでした。能登地方の被害状況についても情報収集を行いました。

●能登半島地震、被災地のきこえない、手話関係の仲間へ届け! 取り急ぎ救援物資の支援

能登半島地震で甚大な被害をうけた石川県のきこえない、手話関係の仲間は約20名です。その方々を支援するために1月4日に聴覚障害者災害対策中央本部及び石川県対策本部、北信越ろうあ連盟との話し合いが持たれました。ライフラインが断絶し、厳しい避難生活を余儀なくされた状況を踏まえ、まず石川県を除く北信越4県より救援物資を届けることを確認し、翌日より行動を開始しました。富山県協会は水、ランタン、毛布、カイロ、寝袋など避難者のニーズに合わせて購入し、1月6日の早朝に石川県聴覚障害者センターに届けました。道路の寸断のため救援物資の搬送は大変な状況。一日も早く安全・安心な生活を取り戻せるようにと願っています。



一日も早く安全・安心な生活を取り戻せるようにと願っています。

●支援金と義援金で被災した仲間たちを支援しよう!

聴覚障害者災害救援中央本部から、右の通り、支援金と義援金の趣旨について通知があり、2通りの募金の協力を呼びかけています。どちらかを選択もできますので、被災した仲間たちを支援していきましょう。期限は6月30日です。詳しくは、富山県聴覚障害者協会へ。

	救援基金(支援金)	義援金
被災地での救命・復旧活動	使われる 各機関・団体の判断で被災者支援や復旧活動に役立てられる	使われない 緊急支援や復興事業に使われない
公平な配分	各機関・団体が使い道決定 支援使途や収支報告によって透明性を確保	被災者に公平に配分 寄付金の100%が公平に配分される
被災地に届く時期	すぐに届く 被災地からのニーズに対して、各機関・団体の判断と責任において柔軟に使用することですぐ活用される	時間がかかる 被災者数などの性格な情報を把握した後に公平に分配されるので時間がかかる

1月21日現在 124,762 円集まりました。ご協力ありがとうございました。